



終戦事務連絡委員会連絡事項

三十三號

昭二〇一、二七  
電務部

連絡事務局

1 地方事務局ノ所在地

横浜、横須賀、京都、大阪、仙臺、佐世保、吳

2 近ク開設豫定地

鹿屋、福岡、館山、和歌山、名古屋

3 8Aヨリ左記飛行場ハ使用セサルニ付農耕ニ使用差支ナシト

宮城、秋田、山形、岩手、新潟

4 米側ノ要求

(イ) 立教學園ニ於ケル宗教ヲ蹂躪セル職員ヲ退職セシメヨ

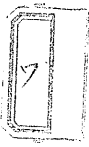
其ノ他ノ學校ニ於テ宗教ヲ仰壓セル事情ヲ調査シ報告セヨト

(ロ) 日本ニ於ケル花柳病豫防對策ヲ至急報告セヨ

5 所謂戦争犯罪人ノ近況鈴木公使談(大森收容所)

(イ) 現在二十三名(十月五日横濱ヨリ、澤田中將ハ十五日直接)

(ロ) 當初ハ繁忙ヲ極メ準備不十分ナリシ爲意ニ満タサル程ノアリシモ最近良況ニ



0466

在リ

(イ) 健康状態良好。部屋を廣キ爲明瞭性大ナリ

東條 大將 貫通銃創ハ全治。右肘ノ上下運動及後方へ廻スコト困難ナリ

鈴木 大佐 右足副木ヲ當テアリシモ二週間後之ヲ除キ得ルニ至レリ

土肥原 大將 痔瘻ノ注射要請中ナリ

醫者ハ毎日十時ヨリ遷視シ難易ナル醫科治療モ可能ナリ

(ロ) 行動ハ自由ナリ

日常ノ行軍ハ左記食率及消燈時間ノ外制限ナシ

○七三〇 朝 食 一三〇〇 晝 食 一七〇〇 夕 食 二二〇〇 消燈

入浴ハ毎日實施シアリ

(ハ) 食糧ハ米側ノ擔任ナリ但シ東京都ヨリ食糧ヲ配給シアリ副食物ノミ若干不遇

シアルモ鈴木機關ヨリ補充シアリ

(ニ) 數日前「アイケルバーカー」中將視察シ「コーヒート」「ミルク」等ヲ贈與ス

(ホ) 入冬季ナルモ機服。履具ハ不自由ナシ

刊行日毎二十本位送付シアリ



0467

(9) 家族への通達、家族が入三りの説が流布す

左記宛差出スニト

「大森區入敷一丁目立地第十一番地一軒名目」  
と米軍利用ノ家族ハ借用及専有ノ二種アリ 前者ハ後述ノ如ク一軒ノ支拂ヲ償シ

者ハ米軍ニ於テ支拂ヲ償ス

後用ニ方リテハ米軍政府ノ委託ニ依ル書類ハ本ニ依ルコトヲ以テ地トシテ決定セ

ラレアリ

朝鮮ヨリ探知ル所ハ三島屯ニシテ七島屯ノ如ク報達ハ詳ナリ

二、海軍

1 質問ノ爲地方ヨリ召集セラレル者ノ報告ハ概シテ其況ニ在ルを以テシテヨリ進

報シアル由ナルモ口合ノ方ヘノ報告不十分ナルヘキニ付、調査ヲシテハ如何

「当實際電報ヲ譯長ニ指示セハルニトモ」ニ付、其ノ時ハ起程電報ヲ以テ其ノ中

事實ヘ連絡ノコト」(通達省)

永野元帥ノ新編海軍ニ對シテ少時三島屯入レアリ

海軍トシテハ正確ナル資料ヲ出スルニシテ、誤差中ナルニ付、  
 如ク命令スルニ定ナリ

三、補工省

炭鑛採掘労働者

三十七萬八

千人

十一萬七千人

三交代制十二時間労働ヲ爲シアリ

ノ常盤炭田等ハノ總額ノ...

左記二十八日迄、答ヲ要求シアリ

(1) 速カナル答ヲ要求ス

同左ノ如キ答ヲ要求ス

地下労働賃 十二萬

地上労働賃 七萬

一	五	千
二	二	千
三	三	千

憲法 五十四  
宣付 一頁

國庫 生 益

計 算 入 及 邦 人 ノ 受 入 態 勢 テ 厚 生 省 一 本 下 付 九 州 加 多 指 令 ア リ シ ニ 付 現 在 形 勢 テ  
計 算 セ ル モ ノ ナリ ( 昭 〇 二 六 報 參 照 )

九 州 近 衛 ノ 二 班 ニ 計 算 シ ア ル モ 九 州 ニ 是 等 指 令 下 付 ス ル 形 況 ア リ

成 果 ヘ ク 各 省 ヨ リ 一 名 位 參 加 セ ラ レ 日 長 矣 ス 主 務 省 ( 出 産 省 ) ト ノ 打 合 セ ハ 二

十 九 日 一 〇 〇 〇 ヨ リ 終 了 形 況 會 議 第 二 十 八 次 施 行 細 則 ノ 審 議 ハ 飯 塚 謙 中 山 少

佐 へ 手 交 済

0470